

## 【鹿児島県納税貯蓄組合連合会会長賞】

### 増税、あなたは賛成？

学校法人志學館学園志學館中等部

二年 白澤 翠斗

百円の商品を買った。「お会計百十円になります。」四年前、消費税が十パーセントに上がった。世間では「増税反対」とか「消費税をゼロパーセントに」とか言っているけれどぼくには正直よくわからない。そもそも消費税って何のためにとるのだろう、増税って何の効果があるのだろう、ふとそう思った。

思い立ったら即行動。税について調べてみた。まずは使われ方だ。

どうやら年金、医療・介護、少子化対策などに使われることが多いらしい。確かに消費税をなくしたら救急車が無料で来ないとか医療費を十割負担しないといけないなんて話を小学生のころ聞いた覚えがある。だが「少子化対策」ってどういうことだろう。さらに調べてみた。幼児教育・保育の無償化、大学や短大、高専や専門学校などの授業料の減免などに充てられているらしい。消費税の使われ方は思っていたよりも身近にあったのだ。

でもまだ増税の意味はよくわかっていない。次は増税について調べてみた。

どうやら引き上げた分はすべての世代を対象とする社会保障のために使われているようだ。先程と同じ、主に年金、医療・介護、少子化対策だ。やはり、僕たちの生活には欠かせないものへ使われている。調べた限りでは消費税は国民の生活を豊かにしているように思える。しかしあれほど世間で反対されているのだから理由があるのだろう。さらに疑問が増えた。調べてみよう。

主に三つの反対意見があげられていた。

一つ目は低所得者への負担が大きくなるというものだ。消費税とは高所得者も低所得者も平等に同じ額納めなければならぬ税なので低所得者の負担がかなり大きいのだ。

二つ目の理由は、これ以上の増税は負担が大きくなり、大変だという意見だ。これが最も多いのではないだろうか。税に関してほとんど知識のなかった僕でも消費税十パーセントは多く感じていた。百円の商品を買おうと百十円払わなければいけない、使い道を知らないとしても無駄な出費に感じてしまう。

そして三つ目は増税は景気に悪影響をもたらすというものだ。これだけではよくわからなかったので調べてみた。

実は日本では一九九七年に消費税が五パーセントに上がった頃からデフレーションに陥っていたようなのだ。五パーセントで不況に陥っていたなら十パーセントならもっと悪影響をもたらすはずだ。

世間の増税反対意見も納得のできるものだった。しかし、使い道も調べ納得しているのが増税が正解かどうかはすごく難しい。僕にはわからなかった。いつか自分の答えが出せるよう、税についてもっと勉強してみようと思う。そして日本経済を良い方向にむけるため、周りの人とも一緒に考えてみようと思った。